

新千里東町地域自治協議会 第6回理事会開催案内

日程：10月19日（日）10：00～12：30 場所：東町会館2階集会室

議案1. 第5回理事会議事録の確認（会議録事前配布）

2. 部会・委員会の活動報告と審議事項

(1) まちづくり計画策定部会（資料事前配布）

- ・ジェイグラン千里中央の協議会参加について
- ・セルシー広場でのXマスツリー一点灯式への参加…審議

(2) 防災部会（資料事前配布）

- ・防災訓練（11月16日）の内容説明と訓練参加（旗印作成）のお願い
- ・東町自治協議会の自主防災組織の登録
- ・12月度防災部会開催時間変更

(3) キャンドルロード実行委員会（資料事前配布）

- ・本年度キャンドルロード事業の計画と予算について…審議

(4) 環境委員会（資料事前配布）

- ・ジェイグラン南側道路の溝の安全対策について

(5) 近隣センター移転計画対策委員会（資料事前配布）

- ・住民説明会開催結果報告
- ・新地区会館計画に関する豊中市への意見書提出について…審議

3. 自治会・団体間の連絡と相談

4. その他報告と連絡

- (1) 北大阪急行延伸の事業概要と今後のスケジュール
- (2) 共同募金の協力依頼
- (3) 地域自治の取り組み校区の事例紹介と意見交換のご案内

5. 第7回理事会日程 11月16日（日）13：00～15：00 東町会館2階集会室

以上

理事会出席者へのお願い

1. 理事自身をご出席できない場合は、必ず代理者の出席をお願い致します。
2. 理事各位は自治会・諸団体を代表する立場で理事会に出席頂きます。この理事会での議論の内容を貴団体内関係者に周知頂くとともに、次回理事会議案の内、関わりのある案件については、貴団体内で話し合いの上ご出席ください。
3. 理事会は情報公開を基本としております。東町に関係のある人であれば、理事・監事以外のどなたでもオブザーバーとして出席頂くことができます。
4. 理事会等で議論した内容は、奇数月発行の広報紙「ひがしおか」及び協議会専用ホームページ（higashimachi.jimdo.com）に掲載しますので、ご利用ください。

第5回新千里東町地域自治協議会理事会議事録

1. 日時 2014年9月20日(日) 10:00~12:45

2. 場所 新千里東町会館2階

3. 出席者

*役員：小川会長、赤井・河野昭・橋本各副会長、清水千・勝久両会計

*理事：総数20名中、出席者18名(上記役員6名を含む)

西田・久乗・倉垣・平石・呉・富田(萱野理事代理)・古橋(以上自治会)、
十河・水野・寺村・山地・清水博(以上諸団体) 欠席理事：下野、原

*傍聴者：福岡代議員(UR)

*監事：上田、桑原

*事務局：武藤・山田

*オブザーバー：藤田・林・石塚(以上豊中市)

4. 議事

4-1 第4回理事会議事録の確認

・事前配布資料について説明、特段の意見なく了承された。

4-2 各部会・委員会の活動報告

(1) 防災部会

9月28日(日)13時から大阪市の阿倍野防災センターを見学するが現在26名が参加の予定。また、今年度の防災訓練は11月16日(日)10時からの実施に向けて準備を進めているが、詳細は次理事会で説明する。

(2) まちづくり計画策定部会

ジェイグラン千里中央へ地自協への加入をお願いしているが、管理組合が設立された後自治会を設立する意向との報告があった。ジェイグラン周囲の新設道路の諸問題対応については、環境委員会とどちらが担うのかを調整することとする。夏祭りへの千里中央地区商店会の協賛には感謝するとともに、継続しての連携を図っていくこととする。

(3) キャンドルロード実行委員会

準備を進めておりスタッフ用Tシャツの準備、フォトコンテストなど新たな企画があるが、実施内容・予算など整理し次回理事会で説明を行う。

また、来年以降の事業のありかたなどについて各理事の意見を聞いた。

(4) 環境委員会

5月17日まち歩きでの課題について市回答も踏まえて検討、対応を行っている。ジェイグランよりの参加者から新設道路について疑問、要望が提示されているが、前述のとおりまちづくり部会と調整のうえ対応していくこととする。また緑保全の会への参加を募っている。なお阪急ホテルUR間の舗装工事が9月29日~10月17日に行われる。

(6) 近隣センター移転計画対策委員会

市千里ニュータウン再生推進課、府タウン管理財団より近況説明を受け、質疑を行い、9月24日に再生推進課主催の建替えに関する住民説明会を開催することとした。新地区会館については福祉委員会計画案をもとに検討を行っている。

(7) 夏祭り実行委員会

実施結果の報告があった。問題点・課題も整理しており次年度以降の夏祭りに活かすこととする。また、企業への協賛依頼と協賛者への対応等早期の活動開始が提案されている。

4-3 自治会・団体間の連絡と相談

- ・芝生委員会より、スプリンクラー修理の申請があり承認された。また「おおさか芝生優秀賞」を受賞したこと報告があった。
- ・ガーデンヒルズより、マンション内掲示板数は6箇所、また掲示最大サイズは原則A4であること連絡があった。

4-4 その他

- ・資源ごみ抜き去りにつき、市より市条例の制定を視野に、警告ステッカー配布の経緯等の報告があった。市には警告ステッカーの外国語表示など根本的に有効な対策の検討をお願いして行くこととした。

5. 次回定例理事会：10月19日（日）10:00～12:30

なお、第7回理事会(11月16日(日))は、13:00～15:00に変更することとした。

以上

第16回まちづくり計画策定部会議事録

日時：2014年10月3日（金）19:00～21:00 場所：東町交流室

出席者：清水、小川、十河、森、河野、水野、原、今井、武藤（記録）

欠席者：呉、太田、福岡（敬称、役職など省略以後同）

1. 報告事項

(1) ジェイグランへの加入働きかけについて

- ・9/13（土）管理組合設立総会が開催され、理事長に伏原氏が選出された。
11月中に再度総会が開かれ、その場で自治会設立が審議される予定。
- ・10/2（木）協議打合せを実施した。

出席はジェイグラン2名（伏原氏、藤村氏）、管理会社1名（唐鎌氏）、協議会からは2名（小川、清水）が参加。

*それに際して、協議会への参加条件に付いて討議されたが、協議事項（注1）に記載参照。

(2) 敬老の集いの結果について

- ・東町全体の対象者は増加しているが、参加者は昨年よりやや減少した。
- ・1丁目の参加者はザ・千里タワー13名、ザ・千里レジデンス0名であった。
1丁目の高齢者対象者の人数を次回報告頂くこととなった。
- ・敬老の集いのプログラムについては他の地区にないユニークな出し物もあり、参加者からのアンケート回答からも概ね好評であった。
- ・机の不良品があり、補充が必要であることの指摘。

(3) キャンドルロードの準備状況について

- ・10/25（土）に向け9月12日、25日、10月2日の役員会、9月20日の実行委員会を開催し鋭意進めている。
- ・期日が近づき、用意した紙コップ1万個が底をついたので6,000個追加した。
- ・現在、次回の委員会を10月11日（土）に予定しているが、委員や当日参加のボランティアを含めた人たちに分かりやすいマニュアルを作成している。
- ・運動会10月5日（日）でもお絵かきコーナーを設置する。

(4) 近隣センター移転建替え問題について

- ・9/24（水）19時から市の千里ニュータウン再生推進課主催で地元住民への説明会が実施された。予想以上の110名の参加者があり、建替え計画の状況が説明された。
多くの積極的な意見が出され、地域住民の関心の高さが伺えた。
地域住民の疑問・要望と、協議会で進めてきた意見に温度差が無い事が確認された。
- ・市長あてに東町側の意見書を提出する予定である。
ジェイグランの建設と府営住宅の建替えに伴い、新たな車道が建設され、次の工事計画で通り抜け道路になる計画であるが、歩車分離が崩れ、危険性が増すと予想されるので9月16日、市の道路管理課等と豊中市庁舎内で協議した。こちらの要望、危惧を伝えたところ、東町住民が考えるところの歩車分離を理解できた旨の発言を頂けた。
それとは別に、当該車道の現状危険なU字側溝については、近々に対応するよう調整するとの発言も頂けた。それに従い10月14～15日に現場を市及び府の担当と共に視察することになっている。

2. 協議事項

(1) 新千里東町1丁目マンションへのアプローチ方法について

ザ・千里タワー、ザ・千里レジデンスの当協議会への加入を働きかけてきたが、その困難性が判明したことに当たってこれからの対応について提案と協議があった。

1. 管理組合に対しては今後も自治会の設立要望を継続するが、当面可能性は薄い。
2. 当協議会へは自治会単位の参加でなく、個人やグループ単位での加入も奨めることを理事会に報告、承認を得る。(個人、グループ加入は規約7条で認められている)
3. PTA、民生児童委員の立場での加入要請は期待できないが、個人的な住人との地道な活動は行って貰う。
4. 東町の自治活動、行事などを今後ともPRし関心を高め、それへの参加に期待する。

以上の項目が部会で了承された。

(2) セルシー広場でのクリスマスツリー点灯式への参加について

- ・11月15日(土)に実施されるが、新千里東町地域自治協議会は共催の立場で参加したい。(今年度、なんらかの実績を残す事により、来年度のステップへと繋げたいとの意向をセルシー側は持っている。)
- ・1丁目の商店会との連携が戦略的に大切であるが、今回の参加でこれまで以上に深めていける機会であるのではないかと?
- ・千里セルシーは東町との強い繋がりを望んでいる。
- ・費用はセルシー商店会負担(予算は10万円)である。
- ・キャンドルのコップなど全てをセルシー側で準備し、子どもたちは会場での階段配列や点灯イベントに参加とのプランニングを頂いている。
- ・東町住民へのPRは掲示板にビラを掲載したい。
- ・東町からの参加者にはセルシー金券500円分を先着100名配布予定。(全額セルシー会負担)
- ・地域行事の日程と重なる事への危惧が一部の理事から出ている事を説明。
- ・については、部会で承認頂き、理事会にて審議して貰いたい。

との説明がなされ、部会で承認された。

(3) その他

- ・小川委員から委員交代の提案がなされた。
- ・交代委員はOPHからの人であること、しかし会長としての参加要望があれば参加する。とのことを承認された。

注1. ジェイグラン自治会の加入について

1. 自治会設立後、協議会へ加入して貰えるよう努める。
2. 協議会の会費は27年度からとすることについて討議、承認された。
他の団体(公民分館、防犯支部、福祉委員会)への参加についても同様の扱いとなるよう4団体で足並みを揃える。

3. 次回は11月を休会とし、12月5日(金)19時から交流室とする。

以上

2014年度東町総合防災訓練

主催：新千里東町地域自治協議会 防災部会

日時：2014年11月16日(日) 9:00～12:00

場所：各自治会～東丘小学校校庭

参加：各自治会(管理組合)並びに東丘校区内の関係諸団体

目的：防災部会等の対策本部設営及び各自治会(管理組合)の避難訓練

訓練内容:

1. 災害対策本部の設営と避難訓練

(1) 対策本部の設営訓練・・・対策本部要員は9:00現地集合

★対策本部要員は、防災部会メンバーと防犯・福祉・女性防火クラブ・東丘小学校など関係諸団体の協力により編成する

★南側芝生の中央付近に赤色屋根のテントを設置し対策本部とする

★避難者の受付を準備する(本部の班編成とそれを構成する自治会)

情報班:メゾン千里・桜ヶ丘・アーバンライフ 物資班:OPH・ガーデンヒルズ・ジオメゾン

救助救護班:シティハウス・グランドメゾン・UR 避難誘導班:3の3・あかしや・商店会

(2) 消防署の協力・・・9:30到着

★消防車が、南門より入場し、校庭に駐車する

(3) 各自治会(管理組合)の避難訓練・・・10:00対策本部に到着

★各自治会(管理組合)は、事前に目印(幟、プラカード等)を準備する

★協議会理事(自治会系)または自治会役員がリーダーとなり、各団地から対策本部までの間を目印に従って集団で避難訓練(通学路)

★車椅子利用者の避難訓練を適宜検討願う

2. 体験訓練

★各自治会(管理組合)は次の体験訓練に参加

①煙体験、②消火器取扱い、③AED取扱い、

④防災資機材の管理状況の説明

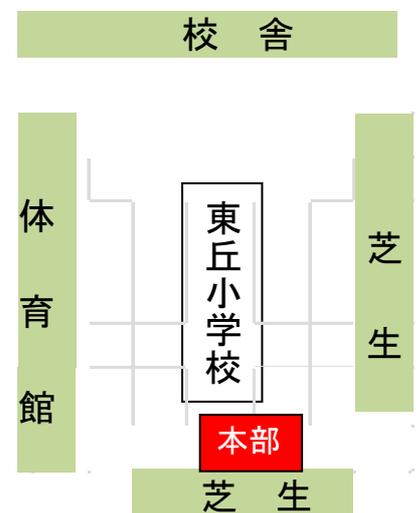
★幼児の消防服着用、消防車と写真撮影

3. 防災活動に係る講話(危機管理室)・・・校庭の芝生

4. アンケート調査(防災部会分・消防署分)

・・・本部テーブルにて回答

—回答が終わり次第解散—



2014年度総合防災訓練実施要領

1. 日時:2014年11月16日(日) 9時00分から12時

2. 目的:昨年度は、東町全体として初めて災害対策本部(東丘小学校)への避難訓練を実施した。

本年度は、第2段階として、昨年度準備した防災備品を使用し、防災部会が設営した災害対策本部に、各団地から避難してきた災害弱者も含む居住者の受け入れ要領を確認する訓練を行う。

- ・防災部会の役割は、災害対策本部を設営し、運営する。(本部運営要領は後日)
- ・各自治会(管理組合)は、居住者の内、災害対策本部に避難を必要とする居住者(車椅子利用者など災害弱者を含め)を、リーダーが引率し安全に避難誘導する。

3. 具体的な訓練の実施要領

(1)防災部会メンバーと関係諸団体協力者による災害対策本部の設営

9時 …防災部会メンバーと関係諸団体の協力者は、東丘小学校体育館前に集合
(巨大地震発生時に協力頂きたい団体:防犯協会・女性防火クラブ・福祉委員会・東丘小他)

★訓練機材の搬出、ビブス着用、南側芝生の中央付近に本部テント設営

- ☆赤色屋根のテント1張、防災備蓄品、ビブス(←体育館舞台裏倉庫)
- ☆ハンドマイク1、発電機1、救助工具類(←防災資機材庫・リヤカー使用)
- ☆机4(←東町会館) ☆椅子10(←体育倉庫)

★防災部会メンバーと関係諸団体の協力者は、対策本部内の班編成を行う

☆災害対策本部、☆情報班、☆物資班、☆救助救護班、☆避難誘導班

★避難者の受付を準備する(本部の班編成を構成する自治会ごとに集合)

- ☆情報班:メゾン千里・桜ヶ丘・アーバンライフ ☆物資班:OPH・ガーデンヒルズ・ジオメゾン
- ☆救助救護班:シティハウス・グランドメゾン・UR ☆避難誘導班:3の3・あかしや・商店会

10時…各自治会別参加者の集合状況を提出された名簿にて確認(避難誘導班)

(2) 消防署の協力…9:30に消防車が、南門より到着、校庭に駐車

(3) 各自治会(管理組合)の避難訓練…10:00対策本部に到着

※各自治会(管理組合)は、事前に目印(幟、プラカード等)を準備してください

9時半 …各自治会(管理組合)の参加者は、各団地内で定めた指定場所に集合

- ★各団地の避難誘導リーダーは、協議会理事(自治会系)または自治会役員
- ★避難経路は、各団地から対策本部までの間の通学路とする(東丘小正門から入る)
- ★車椅子利用者の避難訓練を適宜行う

10時 …各自治会別に災害対策本部(東丘小学校グラウンドの赤屋根テント)前の芝生に集合

- ★情報班、物資班、救助救護班、避難誘導班が、各自治会の避難結果を点呼確認する
- ★地域自治協議会小川会長、東丘小学校十河校長の挨拶
- ★危機管理室の講話を聞き、簡単な質疑応答

10時半…情報班、物資班、救助救護班、避難誘導班が3種目の訓練(4班に分け順次体験)

☆煙体験 ☆消火器取扱い ☆AED取扱い ⇒防災資機材庫の説明

11時半…情報班が、アンケートへの協力依頼、参加者は回答後、解散

2014年度東町総合防災訓練

11月16日(日) 9:30~11:30

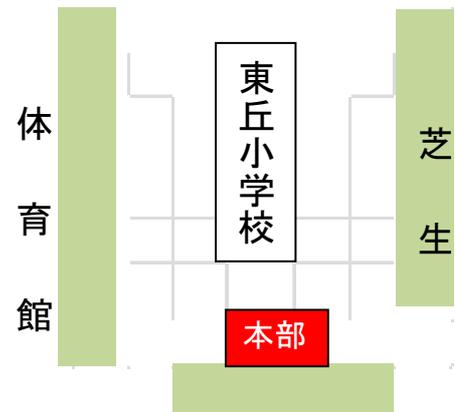
東丘小学校校庭

自治会(管理組合)の避難訓練

- ★各団地から東丘小学校まで避難訓練
- ★車椅子利用者の避難訓練

防災体験訓練

- ★煙体験
- ★消火器取扱い
- ★AED 取扱い訓練
- ★防災資機材の管理状況
- ★幼児の消防服着用、消防車と写真撮影



災害対策本部の設置訓練

- ★対策本部は南側芝生の赤色屋根テント
- ★対策本部の設営は防災部会メンバー

新千里東町地域自治協議会防災部会

2014年度 東町キャンドルロード全体計画

新千里東町地域自治協議会会長 小川浩一
キャンドルロード実行委員会委員長 武藤正治

イベント形態、予算、主旨

- ・開催日時：2014年10月25日（土）午後5時～午後8時まで。
（雨天等で中止の場合は、翌日同時刻に順延。以降順延はしない。）
- ・地域自治協議会の主催により、キャンドルロード実行委員会の運営にてイベント全体を統括する。
- ・全体予算は約28万円。（別途予算書参照）大阪府タウン管理財団に申請した、「にぎわい助成金」にて全体予算の50%は助成して頂ける予定。
- ・地域の各自治会、諸団体、サークル、個人の有志による自由参加形態にて行う。
- ・開催主旨として、各自治会間の交流、日頃出会う機会、交流する機会の無い人達の新たな交流の場を提供する事により、地域全体のコミュニティー活性化を期待するものとする。
- ・万が一の事故、怪我に備えて協議会として保険に加入する。
- ・来場者の誘導、諸注意・指示等、運営を円滑に進めるためにスタッフ用Tシャツを作成する。

イベント内容

- ・地域住民が絵描きした紙コップを用い、約20,000個のキャンドルを「こぼれび通り」、「もみじ橋通り」、「東丘小学校正門前歩道」及び「もくせい公園脇歩道」それぞれの沿道に実行委員会が指定した場所にディスプレイする。（別途マップ参照）
- ・新千里東町近隣センターをメイン会場とし、近隣センター南側と北側にメインブース会場を設置する。（日本ボーイスカウト豊中第14団による、太陽の塔を模したディスプレイなど）
- ・地域諸団体の有志の申し出により、キャンドルロード実行委員会として野菜スープを販売する事となった。（利益はあげない。販売スタッフは地域ボランティアにて構成。）
- ・今年度夏祭りで協賛頂いた新千里西町の介護施設・豊寿荘よりラーメンの模擬店出店の申し出があり、千里中央地区の新たな交流と位置付けし出店をお願いする事とした。
- ・スーパー「青葉」前の回転焼き、東町街角広場、及び近隣センター内パン工房、いなご屋、丹羽商店に、通常よりも営業時間を延長し、来場者の飲食に対応出来るよう協力を依頼し了解を得た。
- ・イベントの開始時に地元少年野球チーム「千里ツインズ」の少年たちの手により点灯式を行う。

警備、安全管理等

- ・消灯対象区間はこぼれび通りのみとし、通りの南側街灯を5時から8時に消灯する。但し、スーパー防犯灯は点灯する。
- ・火を扱うイベントなので、事故・怪我がないよう安全管理には十分に留意する。
- ・沿道の各所にスタッフを配置し、来場者（特に子供と高齢者）が火傷や怪我をしないよう常に目を配る。
- ・万が一の火災に備えて、各所に消火器と水バケツを配置（一部は水入りペットボトルで対応）
- ・キャンドルの設置・来場者の通行により、通常の通行人、自転車の往来等に支障が出ないようにスタッフが的確な指示と誘導を行う。
- ・「こぼれび通り」「もみじ橋通り」には、自転車の通行、歩行者への注意喚起・協力依頼の告知看板を数日前より設置して周知を図る。
- ・「こぼれび通り」のあかしゃ橋から東側安場橋区間の南側街灯も一部消灯となるので、その旨協力依頼看板で告知し、注意を喚起して貰う。
- ・本部席には武藤キャンドルロード実行委員会委員長と小川地域自治協議会会長が常駐する。
- ・各ブロックにはブロックリーダーを配置し、本部との連絡を円滑に行う。
- ・実行委員会メンバーには全体マップ、タイムスケジュール、図解入り準備・片付けマニュアルにて段取りを周知。
- ・当日参加のボランティアには上記マニュアル等を使用し、実行委員会役員・委員会メンバーにより説明を行い、安全管理を徹底するものとする。
- ・ゴミの分別処理、処分については出展グループがそれぞれ責任をもって行って貰う。
- ・近隣住民・施設の迷惑とならないよう留意し、ゴミの分別処理、持ち帰りを徹底するものとする。
- ・参加団体によるゴミの処理など後片づけ終了後、武藤キャンドルロード実行委員会委員長、小川地域自治協議会会長並びに実行委員会役員は会場全体の確認点検を行い、当イベントの終了宣言をする。

以上

配置場所



→	イベント計画動線
●	警備員(実行委員)配置
●	ろうそく配置計画
●	消火設備(バケツに水を入れる)
◎	消火器(4カ所)

①～③ 看板配置位置

〈各団体のろうそく配置エリア〉

- Ⓐ メゾン千里／桜ヶ丘／シティハウス
- Ⓑ ガーデンヒルズ／OPH／アーバンライフ／八中生徒会／おやじの会
- Ⓒ ジェイグラン／3-3
- Ⓓ グランドメゾン／あかしの丘LC
- Ⓔ UR都市機構／ジオメゾン／公民分館

〈メイン会場〉

近隣センター／アソカ／ボーイスカウト／ガールスカウト

平成 26 年度環境委員会（第 4 回定例会）議事録

開催日時：平成 26 年 10 月 7 日（火）19：00～20：30

場所：東町会館 1F 集会室

参加者：上田稔、小川浩一、石丸誠子、福岡鈴子、和田彪、田邊洋子、今井琢磨、尾崎恵子、山代将雄、ジェイグランから 2 名途中参加（池田、山田さん）武藤正治（記）（敬称略）
計 12 名

欠席者：和田園子、河野昭一、久乗六甲、太田博一、福岡正輝の 5 名

会議内容

和田園子委員長の欠席で、上田稔氏が委員長代行で司会進行を務めた。

議事 1. 第 3 回の議事録の確認

議事 2. 道路維持課との現場立会い（平成 26 年 9 月 24 日午後 4 時～5 時）での報告

資料添付とその時の現場状況をプロジェクターで説明。

- ・もみじ橋通り側溝のスクリーン設置の効果が良好である。
- ・立会い後、2 個のスクリーンが追加された。
- ・防犯グループが 10 月 3 日（金）に見回りした時に側溝の中のスクリーンが溝の所定の位置からズレて溝の流れる方向に置かれていたことに気付いたとのこと。
何の目的か？誰の仕業か？全く不明であるが、その場で元の形状に設置復元はしておいたとの報告あり。

議事 3. シティハウス管理組合から公園みどり推進課にグラウンド北側法面への植樹依頼があったことが、コミュニティ政策室を通じ和田委員長と小川会長に連絡された。

公園みどり推進課としては個別の依頼に対し、環境委員会に先ずは諮って欲しいと伝えた。この件について、シティハウス自治会から参加の今井さんに伺った。

- ・シティハウス自治会では今のところ管理組合から聞いていない。
- ・10 月 15 日に管理組合の理事会があるので、詳細を聞くこととなった。
公園みどり推進課では、アベリアを植樹したが日照不足もあるようで枯渴したとのこと。
- ・以前まち歩きの際に自然環境に詳しい北町の池本さんから法面の植樹には、根を貼るどんぐり等が適しているというアドバイスをいただいた。植樹が難しい原因のひとつが根付き問題であるので、どんぐりを植えることは対応策の一つと意見があった。
- ・東町の人たちに環境問題は先ずは当委員会に相談を貰い、自分たちなりに審議する場があるということを知り、貰う必要があることを確認し合った。

議事 4. もみじ橋通りの休憩場所の場所選定について

- ・協議会の 10 月度理事会で希望場所（椅子並びに水飲み施設など）を各自治会で検討して貰うことを要望する。
- ・当委員会でも併せて検討していく。
- ・委員はそれぞれの自治会で希望意見を積極的に纏めること（府営住宅、ジオメゾン、シティーハウス、OPH、桜ヶ丘）
- ・その他の自治会は委員不在のため理事会で依頼する。

議事 5. アダプト清掃の担当について

今年度から各自治会からの参加者が順番で当番をして頂くことになっていたが、徹底されていないのが現状であること、についてはその対策について検討した。

- ・自治会の輪番であることを理事会で再度依頼する。
- ・9月のアダプト時にも、この件を参加者に報告依頼した。
- ・10月はジオメゾンとして和田彪さんに依頼したが、小川浩一から桜ヶ丘の浦川さんに依頼して承諾して頂いていると報告あり。
- ・については和田彪さんから桜ヶ丘の浦川さんに交代し、11月度はOPH、12月度はアーバンライフに依頼することになった。
- ・新たな人にも理解しやすいマニュアルが必要であるとの指摘あり

議事6. ジェイグランと府営住宅建替えて新設の車道問題について

前月の委員会で問題点が噴出した、その後9月16日に道路管理課に伺い協議した。

結果は今月14日又は15日の午前中に現場で立ち合い現状を認識することになった。

- ・現地の声が最も説得力となるので、ジェイグラン並びに府営住宅の方は是非参加願いたい。
- ・U字側溝の対策も含み文書で10月中に申し込む予定である。

以上

ジェイグラン脇危険側溝に関する豊中市、大阪府との協議

日時：10月15日（水）10：00～11：00

出席：豊中市 竹市氏ほか1名（道路管理課）

大阪府 馬場氏総括主査、曾我氏（住宅整備課）、杉本氏（施設保全課）

地域自治協議会 小川会長・和田環境委員長・上田監事・山田事務局長

街角広場 代表太田氏、石丸氏（3－3自治会・公民分館）

1. 危険な側溝の安全対策

(1)豊中市より施工業者の長谷工に「縁石」を設置する案を提示中との説明があった。

＊縁石＝車道から歩道への境界線に設置される、一段高い石。

しかしながら、縁石の設置のみでは、身長の高い児童は歩道側から車道側へ渡る時に危険な溝を認識出来ないため、歩道の縁にフェンスを設置する案を当方より提示した。

なお、歩道部分（歩行空間）はジェイグランの私有地であり、工事に係る費用はJR西日本負担となる。

フェンスの費用、外観の問題もあり、今後は豊中市、JR、長谷工間での調整となるが、最終的な判断はJR西日本に委ねられる。

従ってフェンスの設置及び外観に関する要望は、ジェイグランから声をあげて頂く事が最良と思える。

(2)危険側溝に蓋をする方法

当方より側溝に蓋をする方法を提示したが、途方もない費用と大掛かりな工事、工事に伴う騒音、蓋設置後の側溝の日常の清掃など問題がいくつもあるとの説明があった。

従って、ジェイグランには、蓋の設置、横断歩道の設置は次のステップと捉え、現状、縁石またはフェンス設置の方向で要望をとりまとめて頂くよう依頼した。

(3)車道と危険側溝の境界線にオレンジ色の反射板

2～3メートルスパンで設置する。これは大阪府の手によって行われる。

反射板を設置するまでの危険回避策として、大阪府が危険告知の看板を数十メートルおきに設置する。（これは早急に実施）

(4)豊中市のスタンス

大阪府、JRとの調整が不備だった事は認識しているので、この危険側溝をなんとかしたいと思って行動している。（豊中市道路管理課の竹市氏）

2. ジェイグラン、府営住宅間の道路の出口付近の安全対策

「止まれ」の表示をペイントする。（比較的早い段階に大阪府により実施される予定）

上記出口の左側の視界を遮る樹木については、現地にて緊急避難的処置と判断し取り決め、豊中市に伐採ないし剪定を行ってもらうこととした。

また、手前へのカーブミラーの設置については、樹木の伐採・剪定、「止まれ」のペイント後、様子を見ながら検討する。

この樹木の部分に設置されているtimes レンタカーの看板の撤去をtimes に申し入れ、即日撤去をとりまとめた。（近日中に撤去される予定）

関連して、ジェイグラン歩道と八中北側歩道が途切れている点も歩行者の安全面から不具合であるので、豊中市に検討をお願いした。

以上は、10月19日理事会に諮った後、豊中市公園みどり推進課に申し入れることとした。

10 月度近隣センター移転計画対策委員会議事録

日時：2014 年 10 月 1 日（水）19:10～21:00 場所：東町会館 1 階集会室

出席者：小川委員長、水野副委員長（PTA）、河野（3-3）、河村（GM）、高野（福祉）、
清水博（老連）、石丸（分館）、福岡（UR）

アドバイザー：太田（街角代表）、鈴木（近大教授）

事務局：山田

欠席者：呉（GM）、西田（街角代表）、田中（アドバイザー）、武藤（事務局）

議事

1. 近隣センター建替えに関する住民説明会 開催結果（報告）

- ・添付会議記録の通りであり、予定時間を大幅に超える充実した説明会となった。
- ・出席者は主催側を除いて 110 名余と当日の天候等を考慮すると想定外の多さであり、本件が住民にとって極めて重要な関心事であったかを確認できた。
- ・工事中の騒音や車両走行の危険性への質疑が多いと予想していたが、質疑が移転建て替えの是非に関わる本質的な内容であり、質の高い説明会となった。
- ・出席者の質問意見は、当委員会のこれまで議論してきたことと全く同じものであり、当委員会の意見は住民の意見と乖離していないことが立証されたといえる。
- ・豊中市は、移転建て替え計画に対する問題点の指摘数が多く且つ厳しいことに、東町住民の強い意思を汲み取り、計画の見直しの必要性を理解してくれたと思われる。
- ・同じことが商業地権者にも確実に伝わったと思われる。
- ・この会議記録を、豊中市、大阪府タウン財団及び商業地権者に送付することとした。

2. 前回委員会以降の活動（報告）

(1)ジェイグラン協の歩車分離について

- ・豊中市に出向き、双方意見を出し合った結果、東町の考える「歩車分離」は道路の同一平面で歩行者と車が交差しない構造のものを言っていることが理解されたと考ええる。本件について、次の団地造成工事の中で、計画の見直しを要望するため、豊中市を通じて大阪府に働きかけることとした。
- ・同じ場所の道路上の溝については、多くの事故事例を説明した結果、豊中市も危険性を理解し、現時点の道路管理者である大阪府に対し安全対策を講じるよう行動してくれる手はずを整えた。

(2)大阪府との進捗状況

- ・その後、特段の変化はない。
- ・豊中市がある程度認識を新たにした現段階では、大阪府の近隣センター建替え計画の見直しにおける理解と協力が最も重要となっており、交渉窓口を設ける努力を継続することとなった。

(3)アソカ幼稚園へのアンケート調査結果

- ・アンケート調査に対する回答数及び自由記述意見が殊のほか多かったことから、関心の高さが窺い知れる。子どもの安全環境の確保に対する要望意見が 7 割を超えていた。

3. 新地区会館計画について（協議）

- ・福祉委員会の素案をもとに計画試案を添付資料の通り作成した。この後、住民参加のワークショップを開催して意見集約し成案することが望ましく、10月理事会で承認、11月1日号の「ひがしおか」で告知後の11月中旬までに開催すべく準備を進めることとした。

4. 豊中市に対する意見書（協議）

- ・添付意見書案について協議し、下記について一部訂正の上、豊中市長(秘書課)に提出することとした。

＊2項の歩車分離に関する見出しと定義付け

＊3項に郵便局の必要性の追加、「店舗経営」の表現見直し

- ・なお、本文書に、新地区会館計画試案（住民参加のワークショップで検討を加えるので修正あり得るとして）、4団体に対するアンケート集計結果、近隣センター周辺スペース利用状況(写真)、駐車場設置状況と設置予定の調査資料を添付し、当委員会の真摯な取り組み姿勢を知ってもらうこととした。

5. 商業地権者との協議（協議）

- ・東町と商業地権者が建替え後も共存共栄の関係を持続させる前提で、東町が府と市に要望してゆく内容となる新地区会館の建設場所と施設・機能などを、商業地権者に理解頂く必要があるため、協議の場を設定することとした。
- ・建替え後の商業施設が時代と住民ニーズにあう新たな賑わいの場となることを願って、商業地権者との協議の場で、他地域の成功事例を紹介することとした。

6. 10月度理事会対応について

- ・次の事項を理事会にて審議し承認を得ることとした。

＊ジェイグラン南側道路の東方面への通り抜け計画について、歩行者専用道路システムに基づく歩車分離方式への計画変更を豊中市に要望すること

＊近隣センター建替え計画に係る当協議会の見解を豊中市に文書で申し入れること

7. 次回委員会 11月5日（水） 19:10～ 東町会館1階集会室

以上